

団体名	東京医科歯科大学 統合国際機構							
事業名	世界の医歯学を通じた国際理解の促進							
実施期間	平成28年5月から平成29年1月							
場 所	東京医科歯科大学、大学の近隣小中学校及び公共施設							
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ	大学関係者	来場者等	合計
	38	0	6	100	2	5	22	173名

<実施内容>

本事業では、大学近隣地域において、本学留学生の専門分野である医歯学を通じた交流活動を行い、一般的な文化紹介などとは異なる視点から国際理解を促進していくことを目的としました。具体的には、地域の小中学校及び公共施設で交流会を計4回行い、留学生が自身の出身国・地域の医歯学に関する習慣や現状などについて発表するとともに、医歯学に関するアクティビティや質疑応答、ディスカッションなどを参加者と行いました。

小中学校を訪問しての交流活動では、留学生自身が計画段階から参加し、各小中学校の状況を把握した上で、活動の準備を進めていきました。単発的な交流活動となってしまうように、事前の手紙の交換や当日の活動においても、活動の流れなどを工夫することにより、さらにお互いの理解が深まったように感じられました。また、公共施設での交流会は、留学生のポスター発表を中心としました。発表では、それぞれの専門分野と各自の出身国や日本を関連付け、医歯学を学びながら、国際理解を促すことができるような工夫がされていました。

本事業は、小中学生を含む参加者にとっては、一般的に表層的になってしまいがちな留学生の理解について、医歯学という留学生の専門知識を通ずることによって、より留学生個々人の背景や知識を理解することにつながったと考えています。また、留学生にとっては、国際交流という面だけではなく、自身の専門分野を生かした活動が行えたことにより、自信を持って活動に臨み、さらに自尊心を向上させることにつながったと思われます。

<記録写真>



小学校での交流活動



中学校での交流活動



ポスター発表の様子

<参加者からのコメント>

無記名/Anonymous

留学してくるということは学びたい分野のことだけでなく、その国の言葉やルール、マナーなど多くのことを学んだり知ったりしなければいけないんだなと思いました。もっと留学生や外国のことを知りたいと思いました。

無記名/Anonymous

日本の一般的な観光地以外のことを知り、経験するために、この活動に参加しました。ですので、この活動に参加し、中学校に行けたのは、とてもよい経験でした。
驚いたのは、中学生が注意深く、積極的で、礼儀正しかったことです。また、中学生の生活がどのようなものかを知る機会にもなり、とても幸せでした。